

学校コード F128310108954

設置年度 令和 3年度
計画の区分： 学部の学科の設置

届出

関西国際大学 国際コミュニケーション学部 観光学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名山手学院
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	タントウカチョウイシカヒロアキ 担当課長・石川裕章
電話番号	0794-84-3500
（夜間）	0794-84-3500
e-mail	pres-sec@kuins.ac.jp

目次

国際コミュニケーション学部

＜英語コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人濱名山手学院

(2) 大学名

関西国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒650-0006
兵庫県神戸市中央区諏訪山3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学部長	(ワタベ ヨシミ) 渡邊 頼純 (平成30年4月)		
学科長等	(ヨシダ マコト) 吉田 誠 (令和3年4月)	(イ ノスケ) 李 容淑 (令和4年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際コミュニケーション学部 観光学科 学士(観光学)	社会学・社会福祉学関係	4年	80人	年次人	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度						令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	80 (-) [-]	人 () []	80 (-) [-]	人 () []	人 () []	0.52 倍	倍					
志願者数	() []	281 (-) [30]	- (-) [-]	157 (-) [8]	- (-) [-]								
受験者数	() []	259 (-) [30]	- (-) [-]	131 (-) [7]	- (-) [-]								
合格者数	() []	206 (-) [27]	- (-) [-]	121 (-) [5]	- (-) [-]								
B 入学者数	() []	56 (-) [19]	- (-) [-]	28 (-) [4]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A							0.7		0.35				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年							令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	56 [19] (-)	- [-] (-)	28 [4] (-)	0 [-] (-)						
2年次	[] ()	[] ()	57 [19] (-)	0 [-] (-)							
3年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()							
4年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()							
計	[] ()	56 [19] (-)		85 [23] ()							

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	56 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	4 人	0 人	修学意欲の低下(1名)、身体疾患(1名)、その他(2名)
令和4年度	85 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		4 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{56} = \boxed{7.14} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際コミュニケーション学部 観光学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	観光学概論	1春	2				1					
	観光産業概論	1秋	2			1						
	経営学概論	1春	2			1						
	経済学概論	2秋		2							兼1	
	英語基礎1	1春	2						1		兼2	
	リーディング1	1春	2						1		兼2	
	ライティング1	1春	2						1		兼2	
	オール・コミュニケーション1	1春		2					1		兼2	
	英語基礎2	1秋	2						1		兼2	
	リーディング2	1秋	2						1		兼2	
	ライティング2	1秋	2						1		兼2	
	オール・コミュニケーション2	1秋		2					1		兼2	
	英語総合1	1・2春	2			1			1		兼1	
	リーディング総合1	1・2春	2			1			1		兼1	
	ライティング総合1	1・2春	2			1			1		兼1	
	アドバンス・コミュニケーション1	1・2春	2			1			1		兼1	
	英語総合2	1秋・3春	2			1			1		兼1	
	リーディング総合2	1秋・3春	2			1			1		兼1	
	ライティング総合2	1秋・3春	2			1			1		兼1	
	アドバンス・コミュニケーション2	1秋・3春	2			1			1		兼1	
	総合英語 I	2春	2			1			1		兼1	
	総合英語 II	2秋	2			1			1		兼1	
専門教育科目	インテンシブイングリッシュ I	1夏	1						1			
	インテンシブイングリッシュ II	1冬	1						1			
	インテンシブイングリッシュ III	1夏	1						1			

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	観光学概論	1春	2						1			
	観光産業概論	1春	2						+	1		
	経営学概論	1春	2									兼1
	経済学概論	2秋		2								兼1
	英語基礎1	1春	2						1			兼2
	科目統合											
	リーディング・ライティング1	1夏	1									兼1
	オール・コミュニケーション1	1春	2							2		兼1
	英語基礎2	1春	2						1			兼2
	科目統合											
	リーディング・ライティング2	1冬	1									兼1
	オール・コミュニケーション2	1秋	2							2		兼1
	英語総合1	2春	2							1		兼2
	科目統合											
	リーディング・ライティング3	2夏	1									兼1
	アドバンス・コミュニケーション1	2春	2							2		兼1
	英語総合2	2秋		2					1		2	
	科目統合											
	リーディング・ライティング4	2冬		1								兼1
	アドバンス・コミュニケーション2	2秋		2						1		兼1
	総合英語 I	2春		2					1			
	総合英語 II	2秋		2					1			
専門教育科目	インテンシブイングリッシュ I	1夏		1							2	兼1
	インテンシブイングリッシュ II	1冬		1							2	兼1
	インテンシブイングリッシュ III	2夏		1							2	
	リーディング・ライティング総合1	3春		1								兼1
	リーディング・ライティング総合2	3秋		1								兼1
	リーディング・ライティング総合3	4春		1								兼1

日本語ライティングⅡ	2秋	1								兼1
ビジネス日本語Ⅰ	3春	1								兼1
ビジネス日本語Ⅱ	3春	1								兼1
専門日本語Ⅰ	3秋	1								兼1
専門日本語Ⅱ	3秋	1								兼1
ICTリテラシー	1春	2								兼1
ICT活用A	1秋	2								兼1
ICT活用B	2春	2								兼1
ICT活用C	2秋	2								兼1
生涯スポーツⅠ	1夏	2								兼1
生涯スポーツⅡ	1冬	2								兼1
人間学Ⅰ	1秋	2								兼3
人間学Ⅱ	1春	2								兼3
倫理と社会生活(倫理)	1秋	2								兼1
人権と法(法学)	1春	2								兼1
比較宗教論(宗教学)	1春	2								兼1
近現代の歴史(歴史学)	1春	2								兼1
日本国憲法(法学)	1秋	2								兼1
国際社会と政治(政治)	1春	2								兼1
社会階層と文化(社会)	1秋	2								兼1
データサイエンス	1春	2								兼1
環境と生活(環境学)	1秋	2								兼1
生命と倫理(倫理学)	1春	2								兼1
情報と社会(情報学)	1秋	2								兼1
グローバルスタディⅠ	2夏	1			1					
グローバルスタディⅡ	2夏	2			1					
グローバルスタディⅢ	2夏	3			1					
地域研究(欧米圏)	1秋	2								兼1
地域研究(アジア圏)	1秋	2								兼1
サービスラーニングⅠ	2夏	2								
サービスラーニングⅡ	3夏	2								
地域防災減災論(危機管理)	3春	2								兼1
ボランティア論(地域社会)	1冬	2								兼1
災害と安全(危機管理)	1冬	2								兼1
特別研究Ⅰ	-	1								
特別研究Ⅱ	-	2								
特別研究Ⅲ	-	3								
特別研究Ⅳ	-	4								
小計(60科目)	-	14	93	0	7	3	1	2		
合計(166科目)	-	64	268	0	7	3	1	2		
卒業要件及び履修方法										
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から28単位、展開科目から4単位、総合演習から12単位、選択必修として基幹科目から6単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシック」から8単位、コンベンション「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ」もしくは、「コミュニティスタディのうち「サービスラーニングⅠ」「サービスラーニングⅡ」のいずれか2単位以上、または「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。										

日本語ライティングⅡ	2秋	1								兼1
ビジネス日本語Ⅰ	3春	1								兼1
ビジネス日本語Ⅱ	3春	1								兼1
専門日本語Ⅰ	3秋	1								兼1
専門日本語Ⅱ	3秋	1								兼1
ICTリテラシー	1春	2								兼2
ICT活用A	1秋	2								兼1
ICT活用B	2春	2								兼1
ICT活用C	2秋	2								兼1
生涯スポーツⅠ	1夏	2								兼1
生涯スポーツⅡ	1冬	2								兼1
人間学Ⅰ	1秋	2								兼3
人間学Ⅱ	1春	2								兼3
倫理と社会生活(倫理)	1秋	2								兼2
人権と法(法学)	1春	2								兼1
比較宗教論(宗教学)	1春	2								兼1
近現代の歴史(歴史学)	1春	2								兼1
日本国憲法(法学)	1秋	2								兼1
国際社会と政治(政治)	1春	2								兼1
社会階層と文化(社会)	1秋	2								兼1
データサイエンス	1春	2								兼1
環境と生活(環境学)	1秋	2								兼1
生命と倫理(倫理学)	1春	2								兼1
情報と社会(情報学)	1秋	2								兼1
グローバルスタディⅠ	2夏	1						1		兼2
グローバルスタディⅡ	2夏	2						+	1	兼2
グローバルスタディⅢ	2夏	3						+	1	兼2
地域研究(欧米圏)	1秋	2								兼1
地域研究(アジア圏)	1秋	2								兼1
サービスラーニングⅠ	2夏	2						1		兼1
サービスラーニングⅡ	3夏	2						1		
地域防災減災論(危機管理)	3春	2								兼1
ボランティア論(地域社会)	1冬	2								兼1
災害と安全(危機管理)	1冬	2								兼1
特別研究Ⅰ	-	1								兼2
特別研究Ⅱ	-	2								兼2
特別研究Ⅲ	-	3								兼2
特別研究Ⅳ	-	4								兼2
小計(60科目)	-	14	93	0						
合計(195科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から29単位、総合演習から12単位、選択必修として展開科目から32単位以上を修得。 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシック」から8単位、コンベンション「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、または専門教育科目の展開科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」のいずれか2単位以上、もしくは「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。										

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
			修	科	由	授	授	師	教	手	
専門 教育 科目	観光学概論	1春	2				1				
	観光産業概論	1春	2			1					
	経営学概論	1春	2								兼1
	経済学概論	2秋	2								兼1
	英語基礎1	1春	2				1		1		兼2
	リーディング・ライティング1	1夏	1								兼1
	オーラル・コミュニケーション1	1春	2						2		兼1
	英語基礎2	1春	2				1				兼2
	リーディング・ライティング2	1冬	1								兼1
	オーラル・コミュニケーション2	1秋	2						2		兼1
	英語総合1	2春	2						1		
	リーディング・ライティング3	2夏	1								兼1
	アドバンス・コミュニケーション1	2春	2						1		
	英語総合2	2秋	2						1		
	リーディング・ライティング4	2冬	1								兼1
	アドバンス・コミュニケーション2	2秋	2						1		
	総合英語 I	2春	2						1		
	総合英語 II	2秋	2						1		
	インテンシブイングリッシュ I	1夏	1						1		兼1
	インテンシブイングリッシュ II	1冬	1						1		兼1
	インテンシブイングリッシュ III	2夏	1						1		
	リーディング・ライティング総合1	3春	1								兼1
	リーディング・ライティング総合2	3秋	1								兼1
	リーディング・ライティング総合3	4春	1								兼1
	リーディング・ライティング総合4	4秋	1								兼1
	ホテル実務英語 I	3春	1								兼1
	ホテル実務英語 II	3秋	1								兼1
	エアライン実務英語 I	3春	1								兼1
	エアライン実務英語 II	3秋	1								兼1
	旅行業実務英語 I	3春	1								兼1

旅行業実務英語Ⅱ	3秋		1						兼1
観光ビジネス英語Ⅰ	3春		1						兼1
観光ビジネス英語Ⅱ	3秋		1						兼1
マーケティング論	1秋	2				1			
マーケットリサーチ	2春	2							兼1
異文化理解	1秋	2		1					
日本の文化	1春	2		1					
ファイナンス	3春	2							兼1
統計学	1春	2							兼1
セイフティマネジメント	3春	2							兼1
ホスピタリティマネジメント	1秋	2							兼1
ビジネスモデル・アセスメント	3秋	2		1					
ビジネスモデル・デザイン	2春	2		1					
イノベーション論	2秋	2		1					
サービス・ブランディング	2秋	2							兼1
セレモニー産業論	2春	2				1			
思考法	2秋	2		1					
消費者心理	2秋	2							兼1
デジタルマーケティングA	2秋	2							兼1
デジタルマーケティングB	3春	2				1			
ホスピタリティ・コーチング	3春	2							兼1
観光地理	2春	2		1					兼1
ベンチャービジネス論	3秋	2			1				
DMO論	2秋	2			1				
eコマース	3春	2							兼1
ビジネスプレゼンテーション1	2冬	2							兼1
ビジネスプレゼンテーション2	3夏	2							兼1
プロジェクトマネジメント論	2冬	1							兼1
ローカルプロダクトデザイン論	3秋	2							兼1
コミュニティビジネス	3秋	2							兼1
観光まちづくり論	3春	2		1					
地域観光インパクト論	3秋	2							兼1
危機管理論	2秋	2							兼1
観光政策論	3春	2		1					
インバウンド・ツーリズム産業論	2秋	2		1					
発想法	2春	2		1					
航空産業論	2春	2		1					
航空実務	2秋・3春	2		1					
空港業務	3春	2		1					
エアライン特別演習Ⅰ	2春	2		1					
エアライン特別演習Ⅱ	2秋・3春	2		1					
エアライン特別演習Ⅲ	3春	2		1					
エアライン特別演習Ⅳ	3秋	2		1					

エアライン特別実習Ⅰ	3春	2	1					
エアライン特別実習Ⅱ	3秋	2	1					
ビジネスマナー	1夏・ 1冬	2	1					
観光イベント論	2冬	2						兼1
ツアープランニング	3春	2	1					
ホテル産業論	2春	2						兼1
プロトコル特別演習	2夏	2						兼1
ホテル実務	2秋	2						兼1
ブライダルビジネス論	3春	2			1			
ブライダル実務	3秋	2						兼1
アミューズメントパーク論	3春	2						兼1
観光施設デザイン論	3秋	2	1					
MICE・IR概論	3冬	2						兼1
流通産業論	3秋	2	1					
観光交通システム論	2秋	2						兼1
旅行産業論	2春	2	1					
トラベルエージェンツ論	3春	2			1			
旅行業演習Ⅰ	2秋	2			1			
旅行業演習Ⅱ	3春	2			1			
旅行業法・旅行業約款特別演習	2夏	2			1			
ツーリズムモータル・プロデューサー特別演習	3秋・ 冬	2			1			
MICE・IR特別実習	3冬	2	1					
食品衛生管理	3春	2						兼1
国際経営論	4春	2						兼1
国際地政学(名称変更)	3秋	2	1					兼1
ツーリズムモデルⅠ	2春	2		1				
ツーリズムモデルⅡ	3春	2		1				
日本のポップカルチャー	2秋	2						兼1
日本の伝統文化	2春	2	1					
日本の食文化	2秋	2	1					
フードビジネス論	3秋	2						兼1
文化資源の活用と保	2秋	2		1				
自然資源の活用と保	2春	2	1					
キャリアプランニング	3春	2	2		1			兼1
キャリアプランニング	3秋	2	2		1			兼1
インターンシップⅠ	夏・ 冬	1	2		1			兼1
インターンシップⅡ	夏・ 冬	2	2		1			兼1
インターンシップⅣ (名称変更)	夏・ 冬	4	1					
グローバルリサーチ	2秋	16	1					
上級日本語Ⅰ	2春	1		1				
上級日本語Ⅱ	2秋	1		1				
資格日本語Ⅰ	2春	1		1				

資格日本語Ⅱ	2秋	1				1					
観光日本語Ⅰ	2春	1				1					
観光日本語Ⅱ	2秋	1				1					
中国語基礎1	2春	2				1					
中国語基礎2	2秋	2				1					
中国語コミュニケーション1	2春	2				1					
中国語コミュニケーション2	2秋	2				1					
中国語リーディングⅠ	3春	2				1					
中国語ライティングⅠ	3春	2				1					
中国語リスニングⅠ	3春	2					1				
中国語アドバンス・コミュニケーション	3春	2						1			
中国語リーディングⅡ	3秋	2						1			
中国語ライティングⅡ	3秋	2						1			
中国語リスニングⅡ	3秋	2						1			
中国語アドバンス・コミュニケーションⅡ	3秋	2						1			
プロジェクト・マネジメント演習Ⅰ	2春	2		7	3	1					
プロジェクト・マネジメント演習Ⅱ	2秋	2									
プロジェクト・マネジメント演習Ⅲ	3春	2									
プロジェクト・マネジメント演習Ⅳ	3秋	2									
卒業研究(課題研究)	4	4									
小計(135科目)	-	49	212								
基盤教育科目	評価と実践Ⅰ	1~2	1			1	1	1			
	評価と実践Ⅱ	3~4	1								
	リーダーシップ演習 仕事とキャリア形成Ⅰ	1冬	1								
	仕事とキャリア形成Ⅱ	2春	2								
	初年次セミナー	2秋	2								
	基礎演習	1春	1			1	1	1			
	学習技術	1秋	1			1	1	1			
	学習技術	1春	1			3	1				
	リサーチ入門	1冬	1								兼2
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1春秋	2								兼1
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1春秋	2								兼1
	ベトナム語	1春秋	2								兼1
	マレー語	1春秋	2								兼1
	インドネシア語	1春秋	2								兼1
	日本語Ⅰ	1春	2								兼1
	日本語Ⅱ	1春	2								兼1
	日本語Ⅲ	1春	2								兼1
	日本語Ⅳ	1秋	2								兼1
	日本語Ⅴ	1秋	2								兼1
	アカデミック日本語Ⅰ	2春	1								
アカデミック日本語Ⅱ	2秋	1									
日本語ライティングⅠ	2春	1									

専門教育科目のうち、必修科目として基礎科目から6単位、基幹科目から29単位、総合演習から12単位、選択必修として展開科目から32単位以上を修得。
 基盤教育科目のうち、必修科目として「KUISベーシックス」から8単位、コモンベーシックス「情報」から2単位、リベラルアーツから4単位、選択必修としてリベラルアーツ「社会と生活」「科学と生活」のそれぞれから2単位以上、グローバルスタディのうち「グローバルスタディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、または専門教育科目の展開科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」のいずれか2単位以上、もしくは「グローバルリサーチ」を修得した上で、卒業要件単位である126単位を満たすこと。

【令和3年度】

- ・教育課程の一部見直しにより、経営学概論の担当教員を教授1から兼担教授1に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、英語基礎1を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任1から准教授1、助教1、兼任2に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、オラル・コミュニケーション1を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任1から助教2、兼任1に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、英語基礎2を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任1から准教授1、兼任1に変更
- ・英語科目における教育課程の見直しにより、オラル・コミュニケーション2を必修科目に変更し、担当教員を助教1、兼任2から、助教2、兼任1に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、日本の文化の配当学期を2春から1春に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、統計学を必修とし、配当学期を3春から1春に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ビジネスモデル・アセスメントの配当学期を2春から3秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、サービスブランディングの配当学期を3春から2秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ベンチャービジネス論の配当学期を2秋から3秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ビジネスプレゼンテーション1の配当学期を3夏から2冬に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ビジネスプレゼンテーション2の配当学期を3冬から3夏に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、コミュニティビジネスの配当学期を2秋から3秋に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、インバウンドツーリズム産業論の配当学期を3春から2秋に変更
- ・専任教員増により、航空産業論、航空実務、空港業務、エアライン特別演習Ⅰ、エアライン特別演習Ⅱ、エアライン特別演習Ⅲ、エアライン特別演習Ⅳ、エアライン特別実習Ⅰ、エアライン特別実習Ⅱ、ビジネスマナーの担当者を各科目兼任教員1名から、教授1名に変更
- ・教育課程の一部見直しにより、ツーリズムモデルをツーリズムモデル1、ツーリズムモデル2に分離
- ・教育課程の一部見直しにより、国際関係を国際地政学に名称変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	132 科目	0 科目	166 科目	35 科目 [1]	160 科目 [28]	0 科目 [0]	195 科目 [29]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	マレー語	2	1春・秋	一般	選択	担当教員が見つかり次第、開講する予定
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	リーディング1	2	1春	専門	選択	リーディング・ライティング1、リーディング・ライティング総合1に統合
2	ライティング1	2	1春	専門	選択	
3	リーディング2	2	1秋	専門	選択	リーディング・ライティング2、リーディング・ライティング総合2に統合
4	ライティング2	2	1秋	専門	選択	
5	リーディング総合1	2	1・2春	専門	必修	リーディング・ライティング3、リーディング・ライティング総合3に統合
6	ライティング総合1	2	1・2春	専門	必修	
7	リーディング総合2	2	1秋・3春	専門	必修	リーディング・ライティング4、リーディング・ライティング総合4に統合
8	ライティング総合2	2	1秋・3春	専門	必修	
9	ディスティネーション・マネジメント特別演習	2	3冬	専門	選択	代替として、実践的なプログラムとして、ツーリズムモデル・プロデューサー特別演習を科目追加

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

リーディング1、ライティング1、リーディング2、ライティング2、リーディング総合2、ライティング総合1、リーディング総合2、ライティング総合2については、より教育効果を高めるため、科目の統合を行ったことによる。また、ディスティネーション・マネジメント特別演習についても、代替となる科目を追加しており、教育課程全体としてはより充実をさせている。学生への周知は、ガイダンスやWEBの履修システム、履修相談等で行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{10}{166} = \boxed{6.02} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	尼崎運動場売却による(R3)		
	校舎敷地	34,542 m ²	- m ²	- m ²	34,542 m ²			
	運動場用地	37,019 -38,913 m ²	33,820 m ²	- m ²	70,839 72,733 m ²			
	小 計	71,561 -73,455 m ²	33,820 m ²	- m ²	105,381 105,275 m ²			
	そ の 他	23,769 m ²	- m ²	- m ²	23,769 m ²			
	合 計	95,330 97,224 m ²	33,820 m ²	- m ²	129,150 131,044 m ²			
(2) 校舎	専 用	56,099 m ²	0 m ²	0 m ²	56,099 m ²			
	(56,099 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(56,099 m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	語学学習施設は情報処理学習施設と併用		
	87 室	71 室	15 室	6 室 (補助職員 8 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員退職及び移動による減(令4)		
	国際コミュニケーション学部観光学科			13 15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	大学全体	297,016 [28,697]	2,834 [268]	3,488 [1,921]	8,203	6,520	51	
	計	297,016 [28,697]	2,834 [268]	3,488 [1,921]	8,203	6,520 (5,734)	51 (51)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体の数	
	3,547 m ²		486席		344,833冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3115 m ²		テニスコート5面		フットサルコート1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	21,970千円	21,970千円	21,970千円
		共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	16,666千円	16,666千円	16,666千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 名称	関西国際大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
心理学部						1.1	1.08				
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-		平成23年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和3年4月名称変更 平成31年4月募集停止
心理学科	4	125	-	500	学士(行動科学)	0.99	1.08		平成19年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	令和3年4月名称変更
教育学部						0.92	0.72				
教育福祉学科	4	150	-	600	学士(教育福祉学)	0.92	0.72		平成19年	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(英語学)	-	-		平成19年		平成31年4月募集停止
経営学部											
経営学科	4	175	3年次20	740	学士(経営学)	1.11	1.12	令和3年	平成31年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和3年4月定員増
国際コミュニケーション学部						0.83	0.48				
英語コミュニケーション学科	4	75	0	300	学士(英語学)	0.88	0.62	令和3年	平成31年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
観光学科	4	80	-	320	学士(観光学)	0.52	0.35		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
保健医療学部						0.95	1.15				
看護学科	4	100	0	400	学士(看護学)	0.95	1.15	令和2年	平成25年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和2年4月定員増
現代社会学部						-	-				
観光学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
総合社会学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
社会学部						0.66	0.54				
社会学科	4	100	-	400	学士(学術)	0.66	0.54		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
大学全体	-	805	30	3260		0.83	0.98		-		
大学 名称	関西国際大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人間行動学研究科									平成17年		
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士(人間行動学)	0.63	0.625		平成17年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士(臨床教育学)	1.13	1		平成26年	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
看護学研究科											
看護学専攻											
博士前期	2	6	-	12	修士(看護学)	0.42	0.67		平成27年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
博士後期	3	2	-	6	博士(看護学)	1.17	1		令和2年		
大学院全体	-	24	-	50		1.01	0.79				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	特になし		
設置計画履行状況調査報告時 (令和3年)	特になし		
設置計画履行状況調査報告時 (令和4年)	特になし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際コミュニケーション学部 観光学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD及びSD活動はPDとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

・ 定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項
- ・ 授業のアンケートに関する事項
- ・ シラバスに関する事項
- ・ ルーブリックに関する事項
- ・ PD(FD及びSD)に関する事項
- ・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

2021年度 3 キャンパス新体制スタートのための教育活動アセスメント

3回のPDを活用し、本学で収集した学習活動に関する種々のデータのほか、外部講師・参加学生等からのインプットを参照しながら、学科間・学科内・教員間など様々な単位でのディスカッションを行い、3 キャンパス新体制がスタートする2021年4月に、①全学部・学科が本学の教育の特色を踏まえた教育プログラムを開始できるように適切に準備すること、同時に、②ポストコロナの教育プログラムの在り方についての理解を学内共有し、適宜現場実現するための準備を推進すること、を目指す。

b 実施方法

- ・ 全学PD(FD及びSD)におけるワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等

8月20日 「科研費等外部資金獲得について」 愛知教育大学 後藤博明 氏
 8月20日 「ポストコロナの教育・学習活動について」 桐蔭学園 理事長 溝上慎一 氏
 9月17日 「教員によるゼミ生へのキャリアアドバイジング」 実践女子大学 学長補佐・教授 深澤晶久 氏
 2月18日 「重要科目に焦点化したパフォーマンス評価による学習成果の可視化」 京都大学 高等教育研究開発推進センター 高等教育教授システム研究開発部門 教授 松下 佳代 氏

c 開催状況(教員の参加状況含む)

第1回PD 8月20日・21日
 第2回PD 9月17日
 第3回PD 2月18日・19日

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

神戸山手大学と合併し、3キャンパス体制となった初年度である。コロナ対応も含めて、本学の教育実施体制に対する課題について、学部・学科・教員間での共有は図られたと考えている。特に、コロナ禍における遠隔授業の方法について、ZOOMを用いた授業展開を迅速に行うことができた。遠隔授業における効果等について、アンケート調査等を行い、今後の遠隔授業の方法を検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和4年7月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定としている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

関西国際大学高等教育研究開発センター規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、学校法人濱名山手学院組織規程第3条第1項第1号に規定する関西国際大学高等教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 センターは、関西国際大学（以下「本学」という。）の教育・研究の改善に関する事項を取り扱い、もって本学の教育の発展・向上に資することを目的とする。

(所掌業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育改善に関する事項
- (2) 研究等の支援に関する事項
- (3) PD (Professional Development) に関する事項
- (4) 関西国際大学研究紀要に関する事項
- (5) 初年次教育に関する事項
- (6) メディア教育に関する事項
- (7) 教育改革委員会の運営支援に関する事項
- (8) 初年次教育委員会の運営支援に関する事項
- (9) メディア教育委員会の運営支援に関する事項
- (10) その他前条の目的を達成するために学長が必要と認めた事項

(部 門)

第4条 センターに、次に掲げる部門を置き、部門長が業務を掌理する。

- (1) 教育開発部門
 - (2) 初年次教育部門
- 2 教育開発部門は、前条第1号、第3号、第6号及び第8号に掲げる業務を行う。
- 3 初年次教育部門は、前条第5号、第7号及び第8号に掲げる業務を行う。
- (3) メディア教育部門
- 2 教育開発部門は、前条第1号、第3号、第7号及び第10号に掲げる業務を行う。
- 3 初年次教育部門は、前条第5号、第8号及び第10号に掲げる業務を行う。
- 4 メディア教育部門は、前条第6号、第9号及び第10号に掲げる業務を行う。

(組 織)

第5条 センター長、センター長代理、教育開発部門長、初年次教育部門長及びメディア

教育部門長には、学長が任命する教育職員をもってあてる。

(事務局)

第6条 センターに関する事務は、教務課がこれを所掌する。

(改 廃)

第7条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定し、これを行うものとする。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2020（令和2）年4月2日から施行する。

関西国際大学初年次教育委員会規程

第1条 この規程は、関西国際大学学則第50条の2の規定に基づき、関西国際大学（以下「本学」という。）初年次教育委員会（以下「本委員会」という。）の組織及び運営、その他必要な事項について定める。

第2条 本委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 本学初年次教育の内容に関する事項
- (2) 本学初年次教育の教育方法・教材開発に関する事項
- (3) 本学初年次教育のコーディネート・調整に関する事項
- (4) 初年次教育の研修内容・方法・研究成果の情報収集に関する事項
- (5) 本学における専門教育と初年次教育に関する事項
- (6) その他学長の諮問事項及び初年次教育に関する事項

第3条 本委員会は、学長が指名する専任職員をもって構成する。

- 2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員の定数については学長が定める。

第4条 本委員会に、委員長をおく。

- 2 委員長は、学長が指名する。
- 3 委員長は、本委員会を招集し、その議長をつとめる。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名を受けた委員が代行するものとする。
- 5 委員長は、必要に応じて委員以外の職員に出席を要請し、意見を求めることができる。

第5条 本委員会の円滑な運営のため、各キャンパス毎に部会を置く。

- 2 部会に副委員長を置くことができる。
- 3 副委員長は、本委員会委員のうちから当該キャンパスの教育職員をあてるものとする。
- 4 部会は、第2条の審議事項のうち本委員会の委嘱を受けた事項を審議する。

第6条 本委員会に関する事務は、教務課がこれを所掌する。

第7条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定し、これを行うものとする。

附 則

この規程は、平成17年5月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。